

コロンビア経済情勢（３月）

３月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

【ポイント】

- ボゴタ・メトロ１号線の工事進捗３１％（１２日）。
- 平等衡平省の予算執行率０．１４％（２１日）。
- 政策金利１２．２５％に（２２日）。

【本文】

１ 主な出来事

〈国内情勢〉

（１）金融政策・物価・雇用関連

ア 政府、中銀に利下げを求める（「ポルタフォリオ」紙、２日）

財務省は、コロンビア中銀に対し、金融政策の柔軟性及び早期の利下げを求めた。ボニジャ財務大臣は、１月のインフレ率（８．３５％）と政策金利（１２．７５％）の相違について言及、２月にはインフレ率が７．３５％に下がる見込みであると強調した。

イ ２月インフレ率７．７４％（「ラ・レプブリカ」紙、１２日）

国家統計局（ＤＡＮＥ）によれば、２月のインフレ率（年率）は７．７４％であった。同発表を受け、ボニジャ財務大臣は、次回の中銀金融政策決定会合で、さらなる利下げが決定されることを期待する旨発言した。投資会社のコルフィコロンビアナ社は、５０～７５ベースポイント（０．５０～０．７５％）の利下げが実施されると予測している。

ウ 政策金利１２．２５％に（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、２３日）

２２日、コロンビア中銀金融政策決定会合が開催、５０ベースポイントの利下げが決定され、政策金利は１２．２５％となった。同金利は２６日から適用される。ビジュアル中銀総裁によれば、７名の理事のうち、５名が１２．２５％、１名が１２．０％、１名が１１．７５％への利下げにそれぞれ投票した。

（２）財政関連

ア 国家企画局（ＤＮＰ）局長人事（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクタドル」紙、２日）

ゴンサレス国家企画局（ＤＮＰ）局長の辞任後、空席となっていた局長職

に、ロペス前上院議員が就任する。ペトロ大統領は、一連の社会改革を議会で承認させるために「信頼できる人物が必要」と発言しており、連立与党である緑の同盟党に近いロペス氏が指名された模様。

イ 国家予算に関する大統領権限を強化（「ラ・レプブリカ」紙、5日）

財務省は、国家予算の運営に関し、大統領に権限を付与する政令案を変更した。同権限付与により、ペトロ大統領は継続案件(vigencia futura)予算を他のインフラ案件予算に変更できる。

ウ 2024年国家予算に関する政令（「ポルタフォリオ」紙、6日）

スルアガ会計検査院副院長は、財務省に対し、2024年国家予算執行政令に関して注意喚起した。同副院長によれば、同政令により公的な活動が停止してしまう恐れがあると指摘した。同政令により、予算の詳細が明らかになっておらず、投資のための支出が履行されないことにより、公共事業の未実施が発生している。

エ 2024年財政計画での財政規律（「ポルタフォリオ」紙、12日）

12日、財政規律委員会(CARF)は、財務省が提出した2024年財政計画について、債務負担率が規定水準を超過する可能性が高いとして、政府に警告した。なお、政府は、財政規律法による2023年の財政赤字は、対GDP比53.1%で、基準を遵守できていた。

オ 債務負担率の引上げ（「ポルタフォリオ」紙、20日）

財務省は、議会に対し、債務負担率を引き上げるよう申請した。中期財政枠組で財政赤字を試算すると、国家開発計画の資金調達のために176億700万ドルが必要とされる。

カ 平等衡平省予算執行率（「ラ・レプブリカ」紙、21日）

マルケス副大統領が大臣を務める平等衡平省の予算執行率（本年第1四半期）が0.14%であることが財務省の報告で分かった。同省予算額は総額1.8兆ペソ（710億円）で、同省職員の給与支払等のみが執行されている。なお、各省の予算執行率は、保健省が22.57%、教育省が22.08%、鉱業エネルギー省が20.46%等となっている。

（3）鉱業エネルギー関連

ア エコペトル社、来年からベネズエラからの天然ガス輸入開始を確認（「ラ・レプブリカ」紙、5日）

ロア・エコペトル社社長は、国内ガス供給量では全需要の17%を調達できないと見られることから、2025年からベネズエラ石油公社(PDVSA)からの天然ガス輸入を開始すると発表した。当初、ベネズエラからの天然ガス輸入は本年12月からの開始が予定されていたが、2015年以降、使用

されていない全長 224 km のガスパイプラインの点検が必要となり、変更となった。

イ 国内水力発電用ダム湖の水位（「エル・ヌエボシグロ」紙、20日）

コレア鉱業エネルギー計画ユニット（UPME）長は、コロンビア各地のダム湖の水位が平均で 33% にまで下がったと発表、警戒を呼びかけた。

ウ 地熱発電の潜在性（「ラ・レプブリカ」紙、27日）

炭化水素庁（ANH）は、鉱業エネルギー省及びコロンビア地質学サービス局と、地熱開発プロジェクトの第 1 回入札を本年下半期に行うべく準備している。同プロジェクトでは、中央山脈及びパイパ温泉地区（ボヤカ県）を含む地域が対象となる。

（4）インフラ関連

ア アンティオキア県知事、（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、7日）

レンドン・アンティオキア県知事は、政府に対し、トヨ（Toyo）トンネルを含むビア・アル・マル（Via al Mar）道路、国道 25 号線及び同 60 号線等の建設契約を撤回するよう求める書簡を送った。レンドン知事は、道路建設工事予算を完了するための予算が政府にないのであれば、建設契約を撤回すべきとの見解を述べた。なお、アンティオキア県及びメデジン市においては、地方政府が負担する建設予算 13 億米ドルの 3 分の 2 を調達、現時点で地方政府の担当部分の 90% 超が完工している一方、政府担当部分の進捗は 46% である旨説明した。

イ ボゴタ・メトロ 1 号線進捗（「ラ・レプブリカ」紙、12日、15日）

ガラソ・ボゴタ市長は、2月29日時点でのボゴタ・メトロ 1 号線の工事進捗が 31% となった旨発表した。同市長は、「進捗状況は、コンセッション契約部分が 21%、電気・ガス・水道網の移設が 100%、用地買収が 98%、それぞれ進捗している。」と説明した。

また、同市長は 15 日、ボゴタ・メトロ 1 号線が計画通り高架式で建設される旨発言した。メトロが契約通りに建設され、2028 年に操業開始する旨も明言した。

（5）その他

ア コロンビア中銀による経済予測（「ポルタフォリオ」紙、2日）

コロンビア中銀は、2024 年の経済予測を発表した。失業率は 9.3%～12.4%、GDP 成長率は 0.8% と予測している。また、2025 年の GDP 成長率は 3.5% を超えるとしている。

イ 2月コーヒー生産量（「ポルタフォリオ」紙、6日）

コロンビア・コーヒー生産者連盟（FNC）によれば、2024年2月のコーヒー生産量は、前年同月比11%増の95万9,000袋（1袋60kg）であった。2023年10月～2024年2月までの国内でのコーヒー生産量は、前年同期比16%増の550万袋であった。なお、2023年3月～2024年2月の生産量は前年同期比2%増の1,130万袋となっている。

ウ 国家公務員給与10.88%増（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、6日）

公的機能局（Departamento Administrativo de la Funcion Publica）は、政令第0301号を発出、本年1月から遡及して国家公務員給与を10.88%引き上げた。同政令は、各省庁、監督局、地域自治協力機構（CAR）、各種公社の職員に適用される。

エ 2023年観光収入、90億ドルを記録（「ラ・レプブリカ」紙、12日）

コロンビア中銀によれば、2023年末時点での航空費及び旅行費が前年比22.4%増の90億ドルを記録した。なお、2020年と比較すると、同収入は70%増となった。他方、コロンビア移民局は、非居住者の入国者数が前年比26.6%増の580万人を記録したと発表した。このうち、非居住外国人の入国者数は、全体の64.3%を占める380万人であった。同入国者数は前年比26.2%増であった。

エ 2月新規住宅販売件数（「ラ・レプブリカ」紙、15日）

コロンビア建設会議所（Camacol）によれば、2024年1～2月の新規住宅販売件数は前年同期比24.5%減の2万285件であった。このうち、公益住宅の販売件数は20か月連続の減少となっている。

オ 2月失業率（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、28日）

国家統計局（DANE）によれば、2月の失業率は11.7%で、失業者数は前年同月よりも12.3万人多い、290万人であった。

カ IMF4条協議（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、29日）

IMF理事会は、27日の協議をもって、本年のコロンビアとの4条協議が終了した旨発表した。同協議においてIMFは、コロンビア中銀による「当国のマクロ経済政策は、非常に強固で、2021～2022年に蓄積した内外不均衡を正すべく取り組んでいる。」との評価を強調するとともに、国内金融機関の強靱性等を評価した。また、IMFは、コロンビアの本年の経済成長を1.1%、インフレ率を5.3%と予測した。

〈対外経済関係〉

通商・投資関連

ア 1月輸出統計（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドル」紙、2日）

DANEによれば、2024年1月の輸出額は、前年同月比1.3%増の37億4,500万ドルであった。1月の輸出のうち、石油製品の輸出は前年同月比3%減の19億5,850万ドル、工業製品は同4.4%増の7億2,200万ドル、農牧業関連は同9.1%増の8億330万ドルであった。DANEによれば、農牧業関連の輸出増は、バナナ（調理用を含む）の輸出増（前年同月比369.1%増）等によるところが大きい。

イ 2023年に149億2,900万ドルの資本が国外へ流出（「エル・ヌエボシグロ」紙、3日）

コロンビア中銀によれば、2023年に149億2,900万ドルの資本が国外に流出した。流出額は前年よりも41億5,400万ドル多い。内訳は、金融資産が137億1,800万ドル、外国直接投資が12億1,100万ドルであった。

ウ 2023年対コロンビア直接投資前年比57.2%増（「エル・ヌエボシグロ」紙、22日）

2023年の対コロンビア直接投資額（製造業、商業、宿泊サービス業）が前年比57.2%増となった。また、非鉱業エネルギー分野への投資は114億5200万ドルと、全体の42%を占める。なお、製造業分野への投資は、前年比104.6%増の30億8600万ドルを記録した。

エ 2月海外送金受入額（「ラ・レプブリカ」紙、26日）

コロンビア中銀によれば、2024年2月の海外送金受入額が前月比0.12%増の9億1279万ドルであった。また、1～2月の海外送金受入額は、前年同期比12.93%増の18億2672万ドルであった。

オ 対コロンビア米国投資14.3%増（「エル・ヌエボシグロ」紙、25日）

コロンビア米国商工会議所（AmCham）によれば、2023年の米国からの対コロンビア投資額は前年比14.3%増の57億6780万ドルであった。ラコトゥール同会議所事務局長は、「民間投資がコロンビアの経済成長、正規雇用の創出、家計を支えている。投資家の信頼を得るためにも長期的に明確な法整備が必要である。」とコメントした。

2 主な経済指標

別添参照

主な経済指標

経済活動指標	2023/01	2023/11	2023/12	2024/01
国内総生産(四半期)(DANE): %	2.9	0.3	0.3	-
経済活動指数(DANE): %	4.3	1.9	0.1	-
経済活動指数第1次産業(DANE): %	1.7	8.4	2.3	-
経済活動指数第2次産業(DANE): %	0.5	-3.9	-3.7	-
経済活動指数第3次産業(DANE): %	6.7	2.6	0.9	-
エネルギー需要(XM): GWh	6,393	6,654	6,860	6,897
エネルギー需要-前年同月比(XM): %	1.4	6.1	6.4	7.8
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	13.7	9.0	10.0	12.7
主要13都市失業率(DANE): %	14.5	8.7	10.2	12.4
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO): %	-28.6	-20.9	-17.3	-7.9
実質小売売上高指数(DANE): %	-1.8	-3.4	-4.7	-3.9
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	13,872	18,561	19,872	11,594
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	13,872	166,954	186,826	11,594
物価				
消費者物価上昇率-前月比(DANE): %	1.78	0.5	0.5	0.9
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE): %	13.25	10.2	9.3	8.4
生産者物価上昇率-前月比(DANE): %	0.76	-1.9	-1.5	0.5
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	10,523	14,973	14,973	15,573
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	0.2	-6.4	-6.8	-4.3
実質工業売上高指数(DANE): %	0.5	-7.3	-3.5	-4.1
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	2,177,794	2,398,378	4,010,634	1,536,378
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	868.0	1,282.1	1,220.0	959.0
コーヒー生産量-前年同月比: %	-19.7	13.4	-11.9	-11.3
コーヒー価格(IOC)/ 11月から "SUAVE": USD	218.24	194.46	206.92	206.56
石油生産量(日量)(鉱山省): バレル	773,948	778,110	786,701	777,527
石油生産量-前年同月比(鉱山省): %	3.8	4.1	5.6	4.3
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省): バレル	773,948	775,467	776,403	777,527
石油価格WTI: USD / バレル	78.12	77.69	71.90	74.15
金融				
政策金利(中央銀行): %	12.75	13.25	13.25	13.00
為替 月初(中央銀行): COP	4,810.20	4,114.29	4,045.22	3,822.05
為替 月末(中央銀行): COP	4,632.20	3,980.67	3,822.05	3,925.60
為替 最高値(中央銀行): COP	4,989.58	4,117.71	4,045.22	3,969.50
為替 最安値(中央銀行): COP	4,531.75	3,957.77	3,822.05	3,822.05
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,283.87	1,088.39	1,151.79	1,222.50
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,290.11	1,146.87	1,195.20	1,276.55
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,342.91	1,146.87	1,188.17	1,297.33
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,269.56	1,088.39	1,134.17	1,222.50
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	-1,478	-762	-546	-959
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	3,695	4,152	4,445	3,746
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE): %	41.5	-0.1	-2.1	43.5
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	3,695	45,088	49,534	3,746
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	5,530	5,166	5,257	4,959
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE): %	44.7	-21.1	-15.4	29.7
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	5,530	57,540	62,797	4,959
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	785	887	914	913